



足立

区議会だより

発行/足立区議会
<https://www.gikai-adachi.jp> No. 310

第1回
定例会



柳原 桜のトンネル 大踏切通り

足立区議会写真部 西の原 えみ子 撮影

区長提出議案を可決

令和4年度足立区一般会計予算（8面参照）

コロナ禍に疲弊する区民や区内経済を守り、支えるという区の責務を果たすとともに、区制90周年にあたる令和4年度を10年後の区制100周年に向けた礎とする予算です。

令和4年度足立区一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルスワクチン接種事業、中小企業融資事業、学校教育充実事務の経費を増額するものです。

議員提出議案を可決

ロシアによるウクライナへの侵略に

断固抗議する決議（8面参照）

令和4年第1回 定例会のあらまし

第1回定例会は、2月22日から3月24日までの31日間で開会しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派の代表議員、無会派の議員が、3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、令和4年度足立区一般会計予算案等、4会計予算案について、原案のとおり可決しました。その他の区長提出議案36

件についても、すべて原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案4件のうち、1件を全会一致で可決、2件を否決し、1件を継続審査としました。

請願・陳情43件については、1件を採択、37件を継続審査としたほか、5件を不採択としました。

このほか、教育委員会委員の任命に同意しました。

寄附行為の禁止

議員（候補者等を含む）からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。たとえば、入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

●主な内容●●●●●

2面●区政を問う

（各会派代表・一般質問）

5面●議決結果

6面●みなさんからの請願・陳情

●教育委員会委員の任命に同意

●委員会活動

●意見の分かれた案件

7面●予算特別委員会の討論（要旨）

8面●令和4年度各会計予算

●令和4年度各会計予算

●予算特別委員会委員の名簿

●及び委員会の審査結果

●ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議を可決しました

●ウクライナ大使館へ

支援金を届けました

●拉致問題に関する議員研修会を開催しました

問う

令和4年2月22日、24日、25日に開会した第1回定例会で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して5名の議員が代表質問を、各会派及び無会派の8名の議員が一般質問を行いました。

以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧になれます。

足立区議会自由民主党

区民の生命と財産を守る!!

元気が出る予算編成を!!

自由民主党 工藤 哲也 議員

予算タイトルの想い是何か

【問】 令和4年度当初予算のタイトル「守り・支え・未来へ繋ぐ 足立区をもっと元気に」に込めた区長の想い是何か。

【区長】 コロナ禍の影響で弱まった部分を丁寧に手当てし、未来への着実な前進に繋げたいという想いを込めた。一歩踏み込んだ丁寧な対応を心がけるところに区政全般の重きを置きたい。

予算を増額した要因は何か

【問】 令和4年度一般会計予算は昨年度比34億円の増で、8年連続過去最大を更新するが、増額の要因は何か。

【政策経営】 財政調整交付金等の歳入増が見込めることになり、区独自の給付金や消費喚起策等の経費を計上したためである。

再開発は全体の意見を把握せよ

【問】 北千住駅東口再開発を区が支援するかどうかは、全体の意見を把握し、責任を持って判断して進めてほしいがどうか。

【市街地】 学識経験者等の意見を聴いて再開発事業の可能性を検討し、地域には情報提供や意見交換で全体の意見を把握した上で、時機を逸せずに判断する。

子ども達に観るスポーツ体験を

【問】 先日開催された関東社会人・関東大学バスケットボールオールスターゲームを区政90周年に向け、協創の理念で支援体



区独自の給付金の支給対象は

【問】 10万円を支給する「あだちから」生活応援臨時給付金の支給対象を、世帯所得200万円以下の課税世帯とした理由は何か。

【福祉】 国の臨時特別給付金の対象世帯の99.8%が、年間所得200万円以下だったため、同じ所得層の課税世帯を対象とした。

東京電力との実証試験の内容は

【問】 「宅内IoTを活用した防災・減災サービス実証に関する協定」に基づく、柳原地区での実証試験はどのように参加者を募集するのか。

【市街地】 事前周知の上、適宜説明会を開催し、募集の際は丁寧で分かりやすい案内に努める。

ワクチンの小児接種の見通しは

【問】 新型コロナウイルスワクチンの小児接種の課題と供給の見通しはどうか。



鉄道高架化完成！次は竹の塚・花畑の未来まちづくり

自由民主党 新井 ひでお 議員

竹の塚にミクスストコミュニティを

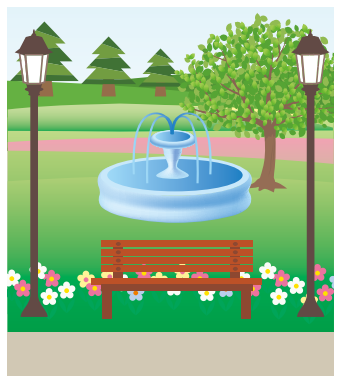
【問】 UR都市機構は竹の塚の3団地を建て替えも視野に入れたストック再生団地に位置付け変更したが、将来を見据え「ミクスストコミュニティ」の実現を要請し交渉すべきではないか。

【エリア】 UR都市機構には、想定される創出用地の活用等を提案する等、個性あるまちづくりに向けて協議に臨んでいく。

竹ノ塚駅前広場の可能性を探れ

【問】 竹ノ塚駅東口駅前交通広場の整備は、UR周辺の敷地まで拡大した再開発事業の導入等可能性を探るべきではないか。

【都市建設】 URの敷地やその周辺を対象とし、再開発を含め様々な事業手法を検討する。



消防団分団本部整備と装飾街路灯等維持管理、撤去

自由民主党 高山 のぶゆき 議員

消防団分団本部整備を支援せよ

【問】 消防団の分団本部は、活動に重要な施設だが、区は分団本部施設の整備に対し、どのような支援に取り組んできたか。

【総合防災】 区立公園内に一定規模の分団本部施設ができるよう「区立公園への防災資機材倉

給は、国が約8割の供給予定を示したため、集団接種に加えて、3月6日から毎週日曜日に区医師会館でも接種を開始する。



未来志向で花畑の魅力づくりを

【問】 ①桑袋ビオトープ公園の浄化施設撤去の予定はどうか。

②跡地に整備する公園は、桑袋団地建て替えで生じる余剰地と一体的に検討すべきではないか。

【みどり】 ①江戸川河川事務所からは、令和4年度から8年度に行う予定と聞いている。

②余剰地の位置や面積が明らかになった段階で検討する。

協創によるまちづくりと地域防災力の強化について

自由民主党 くじら い 実 議員

竹ノ塚新駅舎記念式典の内容は

【問】 竹ノ塚駅の新駅舎が3月20日に供用開始するが、記念式典はどのような内容になるのか。

【都市建設】 6月12日午前10時から約200名の招待を予定しているが、規模や内容は5月上旬を目途に最終的に決定する。

住民の息づかいを感じるまちに

【問】 竹の塚エリアデザイン計画では、まちの将来を考え、地元住民等が計画段階から関わる協創の理念を取り入れたまちづくりを期待するが考えを伺う。

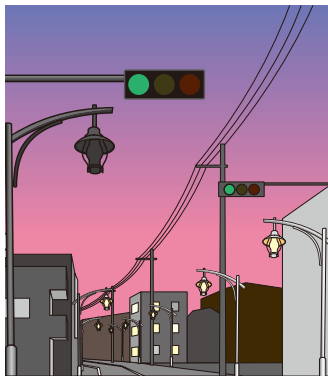
【エリア】 計画段階から住民や企業の参画が不可欠である。様々な方法を工夫し、できる限り多くの意見や提案を可能な限り具体的な計画に反映していく。

足立区をよく知りシビックプライドを高めるために

自由民主党 杉本 ゆう 議員

シビックプライドの醸成を

【問】 シビックプライドの醸成



41件、街路灯209本、アーケード4基、ランプ交換87個である。



には地域教育が有効である。区の歴史や伝承等、小学校社会科

代表・一般質問(要旨)



本会議の録画映像を
区議会ホームページでご覧いただけます
<https://www.gikai-adachi.jp>

区政を

の副読本「わたしたちの足立」に載せるべき事項を教員や郷土史家等と調査すべきではないか。

【教育指導】令和5年度から使用する副読本について、学識経験者等を含めた改訂委員会での内容の見直しを検討する。

地域資源のB級グルメでPRを

【問】地域資源の発掘で来訪者を増加させることができる。「文化フライ」や「ぼった」等のB級グルメをブランド化して、大きくPRできるのではないかと。

【産業経済】B級グルメにこだわらず、観光交流協会とともに区内飲食店等と協力し、区外からの来訪者増加を目指した食のブランド化やPRを検討する。

足立区議会公明党

コロナ禍から区民を守る

区政運営について



公明党 佐々木 まさひろ 議員

プッシュ型で申請漏れを防ぐ

【問】区は行政サービスのデジタル化を推進しているが、支援が必要な方が適切な行政サービスにたどり着けるようにすることが大切である。千葉市では市の保有する住民データを活用し、利用できる行政情報をLINEで通知するサービスを始めたが、足立区でもこのようなプッシュ型行政サービスを希望する区民を対象に実施すべきではないか。

【政策経営】区独自のオンライン申請システムが本格稼働する

令和4年4月からは、個人の属性やライフイベントでの検索が可能になる。今後は、手続きを

戦争体験を風化させるな

【問】郷土博物館に在籍するオーラルヒストリーの専門家に、正式な区の事業として戦争体験を語り継いでほしいがどうか。

【生涯学習】令和4年夏に戦争体験者への取材をもとに広報番組等で特集を予定している。オーラルヒストリーは郷土博物館の学芸員が職務として対応する。



第6波の対応状況を問う

【問】足立保健所では新型コロナウイルス感染症の陽性者に対

用語

* トリアージ：傷病者の緊急度や重傷度に応じて適切な処置を行うため、傷病者の優先順位を決めること。

してトリアージを行い、入院やホテル療養の必要性を判断しているが、対応状況はどうか。

また、健康状態等を問い合わせるメールに対し、返信しない陽性者にはどのように対応しているのか。

【衛生】新規感染者にはSMSで初動調査を行い、リスクに応じて入院等の案内をしている。

また、メールの返信が困難な方専用の電話回線を新たに10回線設けた。翌日も返信がない方には電話連絡を行い、さらに連絡が取れない場合には、安否確認の訪問調査も行っている。

3回目接種加速のポイント

【問】ワクチン3回目接種は、ファイザー製とモデルナ製の交互接種を検討してもらう必要がある。接種を早期に進めるためにも、専門医と区長との座談会等を実施して、その記事を接種券に同封するほか、区ホームページに座談会の動画を掲載する等工夫してはどうか。

【ワクチン】既に区ホームページで交互接種の安全性と効果を掲載している。座談会等を行う考えはないが、厚生労働省が公表する交互接種の有効性をSNS等も活用し、周知を強化する。

高校3年生まで医療費を無償に

【問】都議会公明党が要望してきた結果、都は医療費助成の対象を高校3年生まで拡充する方針を発表した。今後、区は都の助成を積極的に活用し、所得制限を設けずに、高校3年生までの医療費無償化を実施すべきと考えられるがどうか。

【福祉】都からは、現時点で財源や事業内容は決まってい

と説明があった。区の方針決定に当たっては、所得制限も含め、都からの説明を待ちたい。

利用しやすい制度へ改めよ

【問】家具転倒防止工事助成は、助成額の上限を引き上げても、利用実績が伸びていない。対象を未就学児童のいる世帯等に拡大し、一度利用した世帯も、家族構成が変化した場合や利用後10年を経過した場合等、再度利用できるようにしてはどうか。

【建築】令和4年度からは未就学児童を含む世帯への拡充や、助成後10年経過した世帯も再度

桜梅桃李の人権の尊重と魅力あふれるまちづくり



公明党 長井 まさのり 議員



同性パートナーが社会で適切なサービスを受けるために

【問】①同性パートナーシップ・ファミリーシップ制度の宣誓で受けられる民間サービスのインセンティブ拡大に向け、区内事業者に働きかけてはどうか。

②区内でパートナーシップ制度を導入している自治体と連携し、インセンティブ拡大に取り組んではどうか。

③同性パートナーシップ・ファミリーシップ制度の利用は、親の介護問題等もあるため、今後はファミリーに親も含めるとともに、子どもの年齢要件も撤廃してはどうか。

【地域】①区内企業への研修等の機会を捉え、理解促進の取り組みを継続的に進めていく。

②東京都パートナーシップ制度導入自治体ネットワークの21

利用可能となるよう考えている。

解説動画を避難行動に活かせ

【問】洪水ハザードマップの改訂版が完成した際は、区民が自らの避難行動に活かせることが重要である。避難行動の解説動画をAメールで配信する等、視覚で訴える手法で周知すべきではないか。

【都市建設】洪水ハザードマップの改訂版には新たに分散避難の考え方を記載したため、解説動画を作成し、AメールやSNS等で情報発信を行う等、区民が分かりやすい周知を進める。

治体とインセンティブ拡大に取り組む、広域的な連携をしたいと考えている。

③パートナーの家族として年齢に関わらず扶養や介護等の課題に直面する可能性があるため、

Withコロナの学校教育 SDGsに基く地域づくり



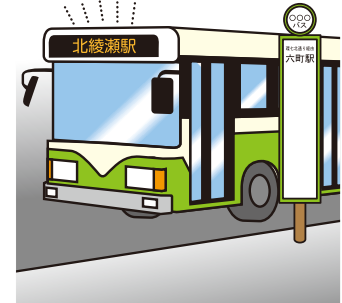
公明党 石毛 かずあき 議員



ICTで教育の機会を拡充せよ

【問】インターネットを利用した配信授業等で、病気療養中の児童・生徒は出席扱いにできるが、さらに保護者等が契約する看護者を配置して、学習等の評価に反映することが求められている。区内の病気療養中の児童・生徒約270人の実態調査をすべきではないか。

また、病気療養中に学習の空白を作らず、精神的な安心感を与える上でも、必要に応じたオンラインで学校とのつながりと授業の提供が必要ではないか。



対象者等の見直しを検討する。

【問】令和3年第1回定例会で我が党から「環七北通りの全線開通後は新たなバスルートの運行が可能となるよう、バス事業者と協議を開始すべき」と要望したが、進捗はどうか。

また、六町駅と北綾瀬駅を結ぶバス路線の開設も要望を重ねてきたが、進捗はどうか。

【都市建設】六町加平橋、環七北通りの整備状況は、随時、バス事業者へ情報提供している。

また、バス事業者を実施した北綾瀬駅前交通広場の乗り入れ意向調査では、新規路線に興味を示した事業者もいたため、連携調整を進める。

また、実態を把握した上で、タブレットを活用し、オンライン配信を行う等、学校とのつながり確保等の支援に努める。



安心して暮らせる地域づくりを

【問】性の多様性の理解に取り組みNPOによると、小学3・

日本共産党足立区議団

出口見えないコロナ禍から

くらし・命支える区政を



日本共産党

はたの 昭彦 議員



保育体制の柔軟な整備を

【問】感染拡大による保育園と幼稚園の休園で、保護者は仕事を休まざるを得ない場合もあり、特にシングルマザー等はすぐに生活困窮に陥りかねない。「子ども預かり・送迎支援事業」を柔軟に運用する等、保育体制を整えるべきかどうか。

【子ども】「子ども預かり・送迎支援事業」の子ども預かりの重要性が高まっているため、委託事業者に柔軟な運用を要望している。臨時休園も学年・クラス単位で判断を行う等、保育体制を整えていく。

独自支援で区内事業者を救え

【問】中小企業への緊急融資は、コロナ終息も景気回復も見通せない中で返済が始まる。国や都

4年生で自身の性に気づき始め、悩むことが多いため、小学生から誰もが希望し安心して暮らせる地域づくりを学ぶことは重要である。区は「性の多様性に関する困りごと対応マニュアル」を教職員に配付し、活用しているが、今後はNPO等と連携し、児童・生徒の心のケアを含めた取り組みをしてはどうか。

【教育指導】NPO等の多様な団体と連携を図ることは大切だと考えるため、LGBT法連合会と協議しながら各校での取り組みを進める。

【問】奨励金の廃止後も復活を求める署名が区長に1万筆届けられ、友愛クラブ連合会等からも声が寄せられている。外出支援によるフレイル予防や地域経済を活性化できる生きがい奨励金を復活し、区民の声に応えるべきではないか。

生きがい奨励金を復活させよ



【福祉】令和4年2月16日の特別区長会で、都から財源や事業内容は決まっていらないと説明があったため、都の基本的な考え方を改めて区長会に説明するよう求めた。区の方針決定については、都の説明を待ちたい。

【問】奨励金の廃止後も復活を求める署名が区長に1万筆届けられ、友愛クラブ連合会等からも声が寄せられている。外出支援によるフレイル予防や地域経済を活性化できる生きがい奨励金を復活し、区民の声に応えるべきではないか。

【生涯学習】生きがい奨励金の復活を望む意見等は認識しているが、高齢者施策事業への組み替えは、高齢者の健康等を守ることに寄与していると考えている。今後も意見に対し真摯に向き合い、丁寧な説明を行うが、廃止を見直す考えはない。

【問】高齢者の紙おむつ支給は、入院時に介護度と関係なく申請できるよう改善し、住民税非課税世帯要件を外すべきではないか。少なくとも予算減額を撤回すべきではないか。

【福祉】紙おむつ支給は所得の低い、真に支援が必要な方を対象としているため、現在の要件を見直す考えはない。

気候危機打開の対策を急げ 公園整備に住民の声を



日本共産党

横田 ゆう 議員



プラスチック分別収集を進めよ

【問】ペットボトルとトレイ以外の全プラスチックを燃やすサーマルリサイクルを区は「現時点では最適」としているが、プラスチックごみを燃やし続けることは地球温暖化防止に逆行している、わが党は指摘し続けてきた。国のプラスチック資源循環促進法に先行し、全プラスチック製容器包装の分別収集を進めるべきだがどうか。

【環境】法の内容を踏まえ、全プラスチック類の分別収集に向け、回収量の推計、収集運搬経費、CO₂削減効果を算出し、事業スキーム構築の検討を進める。

【問】舎人・古千谷本町地区は高齢化が進む一方で日暮里・舎人ライナーの開通で子育て世帯も急増している。区は令和4年に舎人三丁目の生産緑地を取得し、都市計画公園に位置付ける



としたが、地域の特性を活かして地域住民の声を反映し、都下の河川管理用通路を都と連携して一体的に利用できる公園にすべきだがどうか。

また、住民が願っている古千谷橋排水場跡地の公園整備を早期に取り組むべきだがどうか。

【みどり】アンケートや地元説明会で地域の声を丁寧聞いて整備内容を決定し、河川管理者である都とも連携を図っていく。

また、令和4年度から6年度の古千谷橋排水場撤去スケジュールに合わせ、設計や工事の準備を進めていく。

足立区議会立憲民主党

更にアップデートして誰も
がもっと好きになる足立へ



立憲民主党 銀川 ゆい子 議員



【問】23区中半数以上が客引き

を禁止する条例を制定している。足立区も客引き禁止条例を制定

すること、本気で抑止するアピールにもなる。条例制定の時機に來ていると思うがどうか。

【危機管理】条例を制定している数区に確認した際、パトロール員がいる時だけ客引きをやめる等、様々な課題があるとの意見があった。今後、条例制定の効果や過料を条例に含めた場合の実効性等を検討していく。



梅島駅と小菅駅に交通広場を

【問】区内鉄道駅の交通広場は、北千住駅東口、五反野駅前が完成し、竹ノ塚駅東西や西新井駅

足立区議会議会改革を全力で推し進める会

みんなにやさしい・誰にでも
やさしい街・足立区を



議会改革推進 長谷川 たかこ 議員



不登校・ヤングケアラー支援の
充実を

【問】不登校やヤングケアラーの子どもたちが積極的にオンライン授業を活用できる体制を構築することを強く要望する。西伊興小学校の先進的な事例を全校に広げ、様々な選択肢を用意することが、公平な教育機会の確保につながるがどうか。

【教育長】オンライン授業を登校支援に活用することで、対面支援が困難なケースも改善に結



びつくことが期待される。そのため、令和4年度から学校に効果的な活用例を全校に共有する等の取り組みを推進していく。

中国残留帰国者支援を求める

【問】私が議会提案をしたことで、様々な自治会・町会等で中国残留帰国者との交流会が実現していた。コロナが収束した際には、自治会・町会に積極的に働きかけ、帰国者との交流会を行うことを強く要望する。帰国者の歴史的背景を知ってもらい、納涼会等のイベントに帰国者が気軽に参加できる仕組みを区が

無会派

大宴会場構想を斬る！民意なくして「区民の念願」？

無会派市川おさと議員

バンケット施設の必要性を問う

【問】①自民党に加え、共産党もバンケット（大宴会場）推進の立場を明確にした。区は令和2年第4回定例会で「現状を考えると優先順位の高い政策課題である」と答弁し、令和3年の決算特別委員会では「区民の念願である」「どうしてもものすごい金額を投資する必要がある」と答弁した。誘致と言うが、実際は区の丸抱えになると想定しているのか。

②今まで具体的に利用人数や広さに言及しながらも、概算の金額さえ出さないのはおかしい。「ものすごい金額」とは一体どのくらいを見込んでいるのか。

【エリア】①決算特別委員会では、北千住駅東口にバンケットを区が作る場合を想定し、答弁した。バンケット施設の整備は、令和2年第4回定例会で答弁したが、エリアデザイン計画内に

主導して構築し、地域コミュニティの実現を図ることを強く求めるがどうか。

【福祉】今後、中国残留帰国者の意見や希望を丁寧に聞きながら、文化交流イベントの開催等を検討する。その際に区内の町会・自治会のほか、介護事業所等に積極的に働きかけ、地域コミュニティにおける帰国者支援への理解促進を図っていく。



第1回定例会での議決結果

区長提出議案

可決したもの

令和4年度予算・補正予算

◇令和4年度足立区一般会計予算

◇令和4年度足立区国民健康保険特別会計予算

◇令和4年度足立区介護保険特別会計予算

◇令和4年度足立区後期高齢者医療特別会計予算

（4会計予算の内容は8面に掲載）

◇令和4年度足立区一般会計補正予算（第1号）

補正額 7億5千712万3千円

予算総額 3千161億9千249万6千円

◇令和3年度足立区一般会計補正予算（第11号）

補正額 115億4千896万1千円

予算総額 3千599億2千996万9千円

（日本共産党足立区議団より反対討論あり）

◇令和3年度足立区国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

補正額 23億5千660万2千円

予算総額 719億6千925万7千円

◇令和3年度足立区介護保険特別会計補正予算（第3号）

補正額△6億8千466万6千円

予算総額 646億3千80万7千円

（日本共産党足立区議団より反対討論あり）

◇令和3年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

補正額△3億1千17万9千円

予算総額 159億897万5千円

◇令和3年度足立区一般会計補正予算（第12号）

補正額 8千77万5千円

予算総額 3千600億1千74万4千円

条例

◇足立区個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

個人番号を利用する事務を追加及び削除するとともに規定を整備するもの

◇足立区職員定数条例の一部を改正する条例

職員の定数を改めるもの

◇足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

不妊治療のための休暇を新設するもの

◇公益的法人等への足立区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

職員の派遣先から公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会を削除するもの

◇足立区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童支援員の資格に関する経過措置を適用する期間を延長するもの

◇足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

鹿浜西学童保育室を廃止し、鹿浜未来学童保育室を設置するもの

るもの

◇足立区中小企業等の資金調達の支援に関する条例の一部を改正する条例

中小企業等の資金調達に係る支援事業の対象者の要件について、規定を整備するもの

◇足立区地域密着型サービス等事業者選定等審査会条例の一部を改正する条例

足立区地域密着型サービス等事業者選定等審査会の委員の任期を変更するもの

◇足立区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

道路占用料を改定するもの

◇足立区立公園条例の一部を改正する条例

公園の占用料を改定するもの

◇足立区立プチテラス条例の一部を改正する条例

プチテラスの占用料を改定するもの

◇足立区集合住宅の建築及び管理に関する条例の一部を改正する条例

集合住宅の建築及び管理の基準として環境負荷低減のための施設の設置に関する規定を設けるほか、規定を整備するもの

◇東京都計画事業上沼田南土地画整理事業施行規程を廃止する条例

東京都市計画事業上沼田南土地画整理事業の終了に伴い、施行規程を廃止するもの

◇足立区立学校設置条例の一部を改正する条例

東綾瀬中学校の位置を変更するもの

◇足立区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

非常勤職員が育児休業等を取得するための要件を緩和するほか、育児休業を取得しやすくなるための措置について規定を設けるもの

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

区長及び副区長の給料月額を減額するもの

◇足立区特別区税条例の一部を改正する条例

特別区民税の納期に係る規定を整備するもの

◇足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例

保険料率を改定するほか、規定を整備するもの

（日本共産党足立区議団より反対討論あり）

◇足立区柔道整復療養費案件調査委員会条例を廃止する条例

足立区柔道整復療養費案件調査委員会を廃止するもの

◇足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

手数料の減免措置に係る適用期間の延長に伴い、規定を整備するもの

◇東京都後期高齢者医療広域連合の規約変更について

後期高齢者医療の保険料軽減に係る経費を各区市町村が支弁するために、規約の一部を変更するもの

◇学校ICT児童・生徒及び教員用タブレットPC等の購入について

契約方法 公募型指名競争入札

契約金額 3億6千210万4千520円

相手方 アイテック阪急阪神

その他の議案

◇東京都後期高齢者医療広域連合の規約変更について

後期高齢者医療の保険料軽減に係る経費を各区市町村が支弁するために、規約の一部を変更するもの

◇学校ICT児童・生徒及び教員用タブレットPC等の購入について

契約方法 公募型指名競争入札

契約金額 3億6千210万4千520円

相手方 アイテック阪急阪神

報告

◇和解について

応急小口資金貸付金の償還

残額の弁済について和解するもの

株式会社

◇特別区道路線の認定について

所在地	幅員 (m)	延長 (m)	面積 (m ²)
谷中四丁目地内	① —	① —	① 2,063.77
	② 6.00~9.38	② 139.86	② 970.78

◇特別区道路線の廃止について

所在地	幅員 (m)	延長 (m)	面積 (m ²)
谷中四丁目地内	① 7.00	① 63.95	① 456.72
	② 7.00	② 125.16	② 880.75

◇区管理通路の廃止について

所在地	幅員 (m)	延長 (m)	面積 (m ²)
谷中四丁目地内	2.00	80.72	161.56

◇勤労福祉会館大規模改修工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札

契約金額 2億4千189万円

相手方 小倉建設株式会社

◇勤労福祉会館大規模改修機械設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札

契約金額 1億5千125万円

相手方 正和工業株式会社

◇債権の放棄について

児童扶養手当返還金を放棄するもの

◇債権の放棄について

児童扶養手当・児童育成手当返還金を放棄するもの

◇足立区立東綾瀬中学校旧校舎その他解体工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札

契約金額 3億2千634万432円

相手方 麻生・渡部建設

共同企業体

足立区議会
自由民主党

討論者



杉本 ゆう
委員

長引くコロナ禍は区民、区内事業者に大きな影響をもたらしており、オミクロン株の急拡大により、コロナ対策へのさらなる対応が急務である。

このような中、令和4年度予算は「守り・支え・未来へ繋ぐ、足立区をもっと元気に」と名付け、ワクチン3回目接種等の感染症対策の強化、「CO₂ゼロ宣言」の実現に向けて一歩を踏み出す等、未来へ繋ぐ予算であり評価をする。

また、⑧レシートde90周年事業や商連プレミアム商品券発行事業等の施策は、さらなる検討・対策が必要という課題は残るが、消費喚起策としては一定の評価をする。

なお、本予算特別委員会において、我が党委員が指摘した基金活用に関する区民へのさらなる周知、契約制度改革、あだちか

足立区議会
公明党

討論者



いくら 昭二
委員

我が党は、ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議し、これ以上生命が失われないよう、一日も早い平和的解決を求める。

区は、令和4年度予算を「守り・支え・未来へ繋ぐ、足立区をもっと元気に」と名付け、感染症対策を継続・強化するとともに、コロナ禍で我慢を強いられた区民、区内事業者が希望を見いだせるような予算編成を行った。

新型コロナウイルス感染症から区民を守り、区内経済を支えるための経費の計上加え、我が党が本年1月、区長に要望書を提出し実現した生活困窮者世帯等への区独自の臨時給付金60億円を盛り込んでいる。

また、ワクチンの3回目接種の実施、生活困窮者世帯等への区独自の臨時給付金、綾瀬駅前交通広場整備用地取得等による道

ら臨時給付金の区内消費喚起、困窮者施策展開、高校生の医療費無償化、区有施設・区民サービスの周知徹底、宅配ボックスの設置補助、空気清浄機の増設、コロナで亡くなった方の遺族への対面や葬儀に関する情報提供、夕焼け放送・災害放送の改善、災害対策の再検討、シティブロモーション、ウクライナへの人道支援、ストリートピアノ設置や芸術鑑賞体験の継続実施、トラック協会による交通安全教室、学校行事のオンライン配信、足立区の文化・歴史に対する理解を深める地域教育、社会科副読本の内容充実と副教材の開発、教員のメンタルケア・働き方の改善、教育委員会による足立スタンダード授業動画の作成、町会・自治会の法人化手続き支援、戦没者追悼式の開催、働く人にフォーカスした人材育成、あだちつ子歯科健診支援等、様々な提案及び要望事項については、本予算の執行と今後の区政運営に確実に反映するよう強く要望する。

路新設事業等、区民を守り、支え、未来へ繋ぐ事業を展開するとしている。

我が党は、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を国、都と連携し、区とともに推進してきた。この度、2カ所の踏み切りが解消し、安全性・利便性が高まる。今後はさらなる竹ノ塚駅周辺のまちづくり推進を期待する。

なお、共産党提出の修正案は、今後の中長期的な区政運営を考慮した案とは思えず、修正案には到底賛成できるものではない。

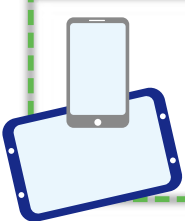
最後に、本委員会では我が党の委員から指摘し、要望した新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種対策、水害を含む災害への取り組み、契約制度改革、SDGsのさらなる推進、高齢者見守り施策の充実、障がい者へのタクシー券・ガソリン代助成の増額、脱炭素化対策、学校跡地の活用、高校3年生までの医療費無料化、文化・芸術鑑賞振興策、学力向上施策、産業展示会「あだちメッセ」の再構築等、様々な提案にも真摯な対応を要望する。

予算特別委員会の録画映像を区議会ホームページでご覧いただけます。
右の2次元バーコードからスマートフォン・タブレットでも視聴できます。
※令和4年10月に開会予定の決算特別委員会についても、YouTubeでインターネット生中継を行いますので、ぜひご覧ください。



※予算特別委員会委員の名簿と委員会の審査結果は8面に掲載しています。

予算特別
委員会の
討論(要旨)



日本共産党
足立区議会

討論者



きたがわ 秀和
委員

新年度予算は、わが党が改善・実施を求めた事業が盛り込まれたが、後手後手と置き去りの予算と言わざるを得ない。

無症状者への検査は東京都任せ、子ども施設での抗原検査キット配布や高齢者施設での定期的PCR検査の拡充は不十分、なんでも相談窓口は1年以上前から求めているものである。後手後手だったことを率直に認めて反省し、次に進む姿勢がない。

高齢者への紙おむつ支給要件は経費や対

象件数を削減、高齢者が使える防災ラジオ配布も区長は拒否、新年度は公立保育園定数を201人削減し、5人に1人が「保育園落ちた」の通知を受け取った。その一方で、優先度が低い事業を併せて進めている。

わが党は、「新型コロナウイルスのち・暮らしを守る」「暮らし・医療・福祉を守り応援する」「気候危機に立ち向かう環境・災害対策の充実」「不要不急の事業先送りや中止・削減、外部委託の撤回」の4本を柱とした予算修正提案を行った。お金の使い方を切り替えることを強く求める。

国民健康保険特別会計は、新年度の保険料値上げに歯止めをかけようとした区の姿

勢と、当初予算に保険料値上げ分は反映されていないことを総合的に勘案し賛成する。

後期高齢者医療特別会計は、保険料は年間4千円近い値上げ、今年10月から窓口負担も2割へと引き上げられ、高齢者に負担のダブルパンチとなってしまうため認められない。

一般会計の同時補正予算は、デジタル教科書実証実験の費用に疑問もあるが、中小企業融資事業継続に必要な経費も盛り込まれており、反対するものではない。

区に対しては、何よりも区民のいのちと暮らしを守る施策を最優先とすることを改めて強く求める。

足立区議会
立憲民主党

討論者



おぐら 修平
委員

令和4年度予算は、「守り・支え・未来へ繋ぐ、足立区をもっと元気に」と銘打ち、さらなるコロナ対策、区内経済の活性化、災害対策の施策充実、エリアデザインと学校跡地のプロジェクト、区政90周年等、区民がコロナの先にも目を向けて希望を見いだせるよう目指したものである。

特徴的な事業として、国の非課税世帯等臨時給付金の対象外となる特定の世帯に対する区独自の10万円の給付金支給、高齢者

や障がい者等の避難行動要支援者の個別避難計画画書作成の推進、福祉避難所の支援体制の強化、高校中退者支援や中退予防策の強化、医療的配慮が必要な方のための精神科医等による相談支援窓口の新設、学校教育のICT化のさらなる充実、脱炭素に向けたロードマップの策定、エリアデザインの推進等が示された。

財政調整普通交付金、特別区民税は企業業績の回復や経済活動の再開、失業率の改善傾向等から増加した。一方で、長引くコロナ禍やロシアのウクライナ侵略による、ガス・石油・食料価格の上昇、金融市場の混乱、世界経済への影響等、予断を許さな

足立区議会
議論を全力で推し進める会

討論者



ながはら たかこ
委員

新型コロナウイルス感染者の増加やロシアによるウクライナへの軍事侵攻によって社会全体に閉塞感が漂っている。今こそ人と人との絆を強固にし、新しい環境、可能性を生み出すアクションが必要である。

今後、高齢化率が上昇していく中、社会保障予算の確保と地方財政措置を的確に行うことが必要である。

令和4年度は区政90周年の節目である。現在の危機的状況を突破し、明るい希望が

見いだせる計画的な予算編成を求める。

以前から提案していたことが新規事業として生み出された。宿泊型産後ケアが新支援事業として行われ、3歳児健診でカメラ型の屈折検査機器の導入整備が開始される。

さらに、4月から通常学級における特別支援教育の視点を取り入れたユニバーサルデザイン教育がモデル校5校で行われる。これらの事業が令和4年度予算に組み込まれたことは大変評価できる。今後は周知啓発と、多くの方々への支援となる仕組み作りを強く要望する。

執行機関には、多様化する区民ニーズを捉え、国や都の補助事業の活用と実効性あ

い状況が続いている。「傷ついたところや疲弊したところ」にできる限り手を差し伸べ、守り支え、かつ未来への持続性をもしっかり確保していく」と予算編成のあらましで述べているとおり、区民生活を支えながら、未来を見据えた予算・施策を求める。

また、我が会派から指摘した、新型コロナウイルス感染症対策の強化、高齢者・保育施設のクラスター対策の強化、高校中退者支援・中退予防、若年者のさらなる支援の強化、指定管理者・委託事業者のガバナンス強化、英語スピーキングテスト導入の問題点、高齢者の住まいの支援、生活保護行政の改善の取り組みを強く要望する。

る施策を展開し、制度の谷間にいる人たちに手を差し伸べる支援策と、国をリードする制度構築の強力な推進を切に要望する。

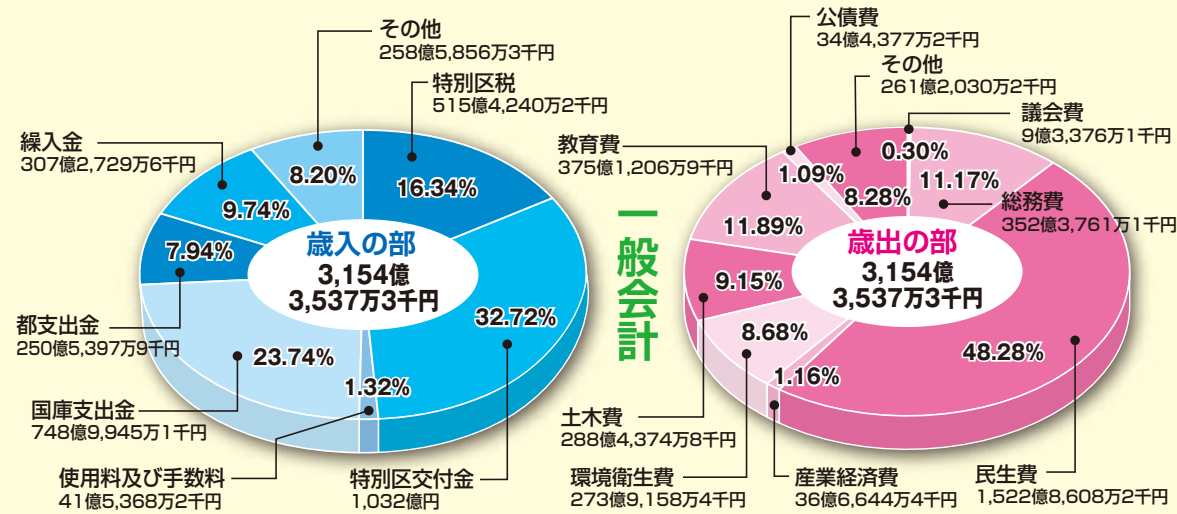
本委員会での質疑をまとめて、次のことを指摘する。

宿泊型産後ケア事業について、中国残留帰国者支援について、区政90周年と文化芸術推進について、足立区版ユニバーサルデザイン教育について、障がい者への差別のない社会づくりについて、発達支援に課題のある青年期・成人期に向けての支援体制の構築について、色覚の多様性について。

本委員会での議論の内容を十分念頭に置き執行されることを強く要望する。

令和4年度 各会計予算

※各会計予算の数値は、補正予算を含んでいません。



区 分		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一 般 会 計	歳入歳出総額	315,435,373千円	312,012,408千円	3,422,965千円	1.10%
国民健康保険特別会計	歳入歳出総額	72,295,331千円	69,695,631千円	2,599,700千円	3.73%
介護保険特別会計	歳入歳出総額	67,484,142千円	64,702,020千円	2,782,122千円	4.30%
後期高齢者医療特別会計	歳入歳出総額	17,281,258千円	16,219,154千円	1,062,104千円	6.55%

一般会計 歳入の主なもの

特 別 区 税	区民のみさんから区へ納められた税金 特別区民税、軽自動車税など
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、都と 23区間で財源の均衡調整を図る交付金
国 庫 支 出 金	特定の事業や使いみちのために、国や都から交付 される補助金など
繰 入 金	基金（貯蓄）の取り崩しなど

一般会計 歳出の主なもの

総 務 費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活動支援に 関する経費
民 生 費	子育て支援、高齢者施策、生活保護などの福祉に 関する経費
土 木 費	道路や公園の整備に関する経費
教 育 費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、生涯学習 に関する経費

■ 予算特別委員会委員の名簿及び 委員会の審査結果

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党
改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無会派
※○…賛成 ×…反対

委員名 区 分		審 査 結 果	自 民					公 明					共 産			立 民	改 革	無 派	無 派						
			白 石 正 輝	吉 岡 茂	高山 のぶゆき	工 藤 哲 也	た だ 太 郎	長 澤 こうすけ	杉 本 ゆ う	に た ない	小 泉 ひ ろ し	た が た 直 昭	い い く ら 昭 二	長 井 ま さ の り	岡 安 た か し	佐 々 木 ま さ ひ こ	大 竹 さ よ こ	ぬ か が 和 子	浅 子 け い 子	横 田 ゆ う	きた が わ 秀 平	お ぐ ら 修 平	長 谷 川 た か こ	へ ん み 圭 二	し ぶ や 竜 一
一 般 会 計	原 案	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	修正案	否決	×	×	×	×		※委員長は採決に加わりません	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
国民健康保険特別会計	原 案	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	修正案	否決	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
介 護 保 険 特 別 会 計		可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計		可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員長・副委員長	
た だ 太 郎	委員長
大 竹 さよこ	副委員長
き た が わ 秀 和	副委員長

令和4年度各会計予算案を審査する予算特別委員会が開会され、3月3日から11日までの間の6日間で審査を行いました。

委員会での質疑及び審査結果

令和4年度予算は、「守り・支え・未来へ繋ぐ、足立区をもっと元気に」と銘打ち、新型コロナウイルス感染症対策の強化を継続し、長引くコロナ禍で我慢を強いられてきた区民、区内事業者の方々が希望を見いだすためのものとしております。

本委員会では今後の行財政運営、基金残高、エリアデザイン、

契約制度改革、ウクライナへの人道支援、新型コロナウイルスワクチン接種及び感染防止対策等、各委員から区政全般について質疑が行われました。

また、ぬかが和子委員ほか3名より、令和4年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」予算の修正案が提出されました。

質疑終結後、各会派から討論が行われ、5議案及び修正案について採決しました。

（討論の要旨は7面に記載）

本会議での議決結果

3月24日の本会議で、ただ太郎委員長より報告がされた後、5議案を原案のとおり可決し、令和4年度予算が成立しました。

ロシアによるウクライナへの 侵略に断固抗議する決議を 可決しました

令和4年3月2日の本会議にて「ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議」を全会一致で可決しました。右記、本文を掲載します。

ロシアによるウクライナへの侵略は、武力を背景にした一方的な現状変更という明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす行為である。

国の主権や人々の自由、生命を踏みにじる武力行使は、断じて許されるものでなく、ましてや核兵器を使用することがあってはならない。

平和と安全の都市宣言を行っている足立区として、国際社会の平和と安全を脅かす暴挙は、断じて容認できず、厳しく糾弾するものである。

よって、足立区議会は、ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議するとともに、政府に対し、現地在留邦人の安全確保に努め、毅然とした態度で臨み、即時無条件でロシア軍の現地撤退を求めるよう強く訴える。

以上、決議する。

拉致問題に関する 議員研修会を開催しました



▲議員研修会の様子

令和4年3月23日に全議員を対象とした北朝鮮による拉致問題に関する研修会を開催し、令和3年に公開された映画「めぐみへの誓い-The Pledge to Megumi-」を鑑賞しました。

ウクライナ大使館へ支援金を届けました

足立区議会と足立区は、令和4年3月11日に区内4カ所（北千住駅・綾瀬駅・西新井駅・竹ノ塚駅）で募金活動を行いました。その後、足立区議会は3月18日に人道支援の一助となるようコルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使へ支援金を届けました。

募金の総額
1,138,963円と15ドル

※上記の金額は募金活動後に集まった額を含めた総額です。

